

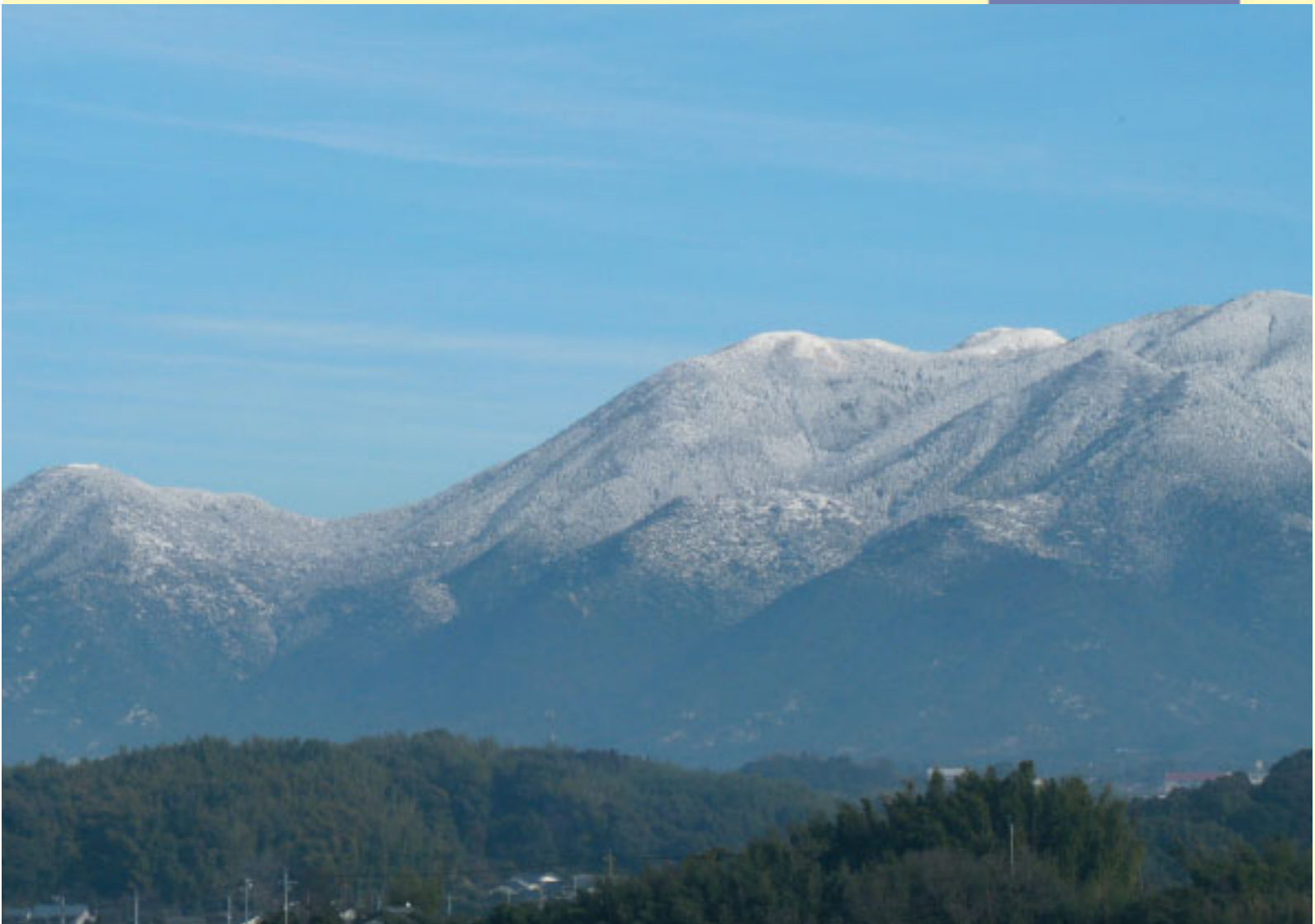


# 福智町

# 議会だより

Fukuchi  
Town  
Council  
News

**Vol.9**  
2009.12



## 主な内容

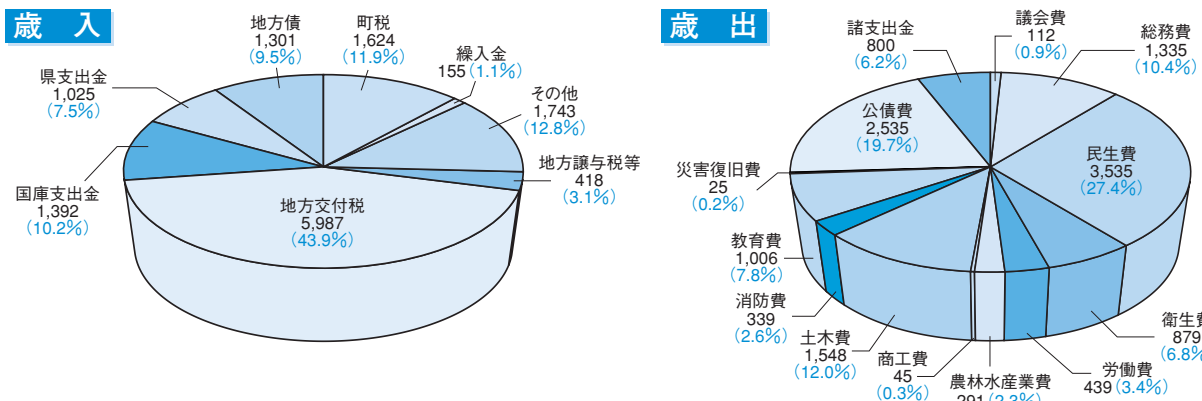
9月定例会報告 .....	1ページ
決算特別委員会報告 .....	2ページ
各常任委員会・監査報告 .....	3～4ページ
一般質問(4議員) .....	5～8ページ
陳情紹介 .....	9ページ
議会行政視察 .....	10ページ



平成20年度福智町一般会計・特別会計・事業会計の歳入歳出決算を審査するため、平成21年9月4日の本会議において決算特別委員会を設置しました。  
審査対象は、一般会計および特別会計（5会計）、事業会計です。  
委員会では、行財政の改革に向けて多くの意見・要望が出ましたので、その一部をご紹介します。

- ◎正規職員数310人、臨時職員等数138人の雇用をしている。早急に全ての課において、職員数の適正化に取り組むこと。
  - ◎公共施設等の合理化に取り組むこと。
  - ◎町民を基本として予算を組むこと。
  - ◎委託料などで節約できるものが多数見受けられるので、再度精査すること。
  - ◎随意契約についても再度精査し見直すこと。
  - ◎今回、指摘された事項については改革を行い、節約に努め、行財政の健全化に向けて、全ての課で努力すること。
- 2日間にわたって委員会を開催し、監査委員による決算審査意見書を参考としながら担当課による内容説明を受け、慎重に審議を行いました。その結果、決算額を認定することに決定しました。  
なお、決算額は次のとおりです。

## 一般会計歳入・歳出 [単位:百万円]



一般会計	歳入	歳出	歳入・歳出差引額
一般会計	136億4,501万3千円	128億8,827万6千円	7億5,673万7千円

・基金現在高(H20年度末)……126億373万6千円 [H19年度末は119億7,379万5千円]  
・地方債現在高(H20年度末)……224億288万1千円 [H19年度末は232億6,300万5千円]

特別会計	歳入	歳出	歳入・歳出差引額
同和地区住宅新築資金等貸付事業	2億9,876万円	2億6,466万2千円	3,409万8千円
国民健康保険	24億7,867万8千円	30億5,354万円	▲5億7,486万2千円
後期高齢者医療	2億3,074万7千円	2億2,762万7千円	312万円
老人保健	2億7,945万8千円	2億7,191万円	754万8千円
福智町立診療所事業	8億815万6千円	10億983万2千円	▲2億167万6千円
事業会計	総収益	総費用	差引額
水道事業(収益事業)	5億8,304万5千円	5億6,136万5千円	2,168万円

# 決算特別委員会報告

委員長 片岡文雄

議案第55号は9月4日に原案承認を行い、それ以外  
の認定・議案・陳情は、9月15日に原案認定・原案可決・  
採択されました。  
報告第5号 平成20年度地方公共団体の財政の健全  
化に関する法律に基づく健全化判断比率等(4指標)  
の算定結果報告書について  
認定第1号 平成20年度福智町一般会計及び特別会  
計歳入歳出決算の認定について  
平成20年度における一般会計及び特別会計歳入歳出決  
算の認定をおこないました。  
議案第55号 専決処分承認を求めるとして(福  
智町一般会計補正予算(第2号))  
集中豪雨が発生した災害において、緊急的な復旧費用が  
必要となつたため専決が行なわれ、議会で承認しました。  
議案第56号 福智町生活安全推進条例の一部を改正  
する条例について  
福岡県警が「暴力団犯罪の撲滅」を進める中、田川地区  
が一致団結し、安全・安心な住民生活の確保の推進を図る  
ため、条例を改正しました。  
議案第57号 議会の議員その他非常勤の職員の公務  
災害補償等に関する条例の一部を改正する条例について  
雇用保険法等の一部を改正する法律の施行に伴い、条  
例の一部を改正しました。

## 議決結果

# 9月 定例会報告

平成21年第3回定例会が、9月4日、  
9月15日まで開催され、決算審査や議案・  
陳情などの審議をおこないました。

### 会期日程

- 9月4日(金) 本会議(第1日)
- 9月7日(月) 決算特別委員会
- 9月8日(火) “
- 9月9日(水) 総務文教常任委員会
- 9月10日(木) 厚生常任委員会
- 9月11日(金) 産業建設常任委員会
- 9月14日(月) 予備日
- 9月15日(火) 本会議(第2日)
- 9月16日(水) 本会議(第3日)
- 9月17日(木) 本会議(第4日)

※日程が繰り上がり、9月15日に閉会しました。

議案第58号 福智町税条例の一部を改正する条例に  
ついて  
災害等被災者の救済措置として、町税を減免するため、  
条例の一部を改正しました。  
議案第59号 町有財産の取得について  
平原団地建替計画に必要な用地を取得するものです。  
議案第60号 福岡県後期高齢者医療広域連合を組織  
する地方公共団体の数の増減及び福岡県後期高齢者  
医療広域連合規約の変更について  
議案第61号 福岡県介護保険広域連合を組織する地  
方公共団体の数の減少及び福岡県介護保険広域連合  
規約の変更について  
議案第62号 福岡県市町村消防団員等公務災害補  
償組合を組織する地方公共団体の数の増減及び福岡  
県市町村消防団員等公務災害補償組合規約の変更  
について  
議案第63号 福岡県自治会館管理組合を組織する地  
方公共団体の数の減少及び福岡県自治会館管理組合  
規約の変更について  
議案第64号 福岡県市町村職員退職手当組合を組織  
する地方公共団体の数の増減及び福岡県市町村職員  
退職手当組合規約の変更について  
議案第65号 平成21年度福智町一般会計補正予算(第  
3号)について

## 第四・五回臨時会報告

10月9日に第四回臨時会、11月4日に第五回臨時会  
が開催されました。結果は次のとおりです。  
議案第69号 工事請負契約の締結について……否決  
議案第70号 工事請負契約の締結について……否決  
平成21年度地域新エネルギー等導入促進事業福智町温  
泉施設太陽熱利用ソーラー設備導入工事は否決となりま  
した。この案件を審議するにあたり、多くの質疑・意見が出  
ましたので、一部をご紹介します。  
第四回臨時会(議案第69号審議)  
◎入札の参加業者を選定した経緯が不透明であり、指  
名競争入札で落札率が98・68%は落札率が高く疑惑  
を招きかねない。  
第五回臨時会(議案第70号審議)  
◎入札金額が近接しており疑問が残る。  
◎落札率が90・59%となり、急激に下がったことは不  
然である。  
◎入札指名について疑義が残る。

予算の総額に12億681万9千円を追加し、予算の  
総額が162億414万8千円となりました。  
議案第66号 平成21年度福智町老人保健特別会計補  
正予算(第1号)について  
予算の総額に470万3千円を追加し、予算の総額が  
1320万3千円となりました。  
議案第67号 平成21年度国民健康保険福智町立診療  
所事業特別会計補正予算(第1号)について  
予算の総額から4362万8千円を減額し、予算の総  
額が10億270万3千円となりました。  
議案第68号 平成21年度福智町水道事業会計補正予  
算(第1号)について  
収益的収入及び支出の予算額から432万6千円を  
増額し、予算の総額が5億7514万6千円となり、資  
本的支出の予算額から1900万円増額し、予算の総額  
が2億4993万3千円となりました。  
※陳情第3号・4号・5号は、9ページで紹介しています。



総務文教常任委員会

委員長 池永利治



【付託案件】  
議案 第56号・57号・58号・65号

**問** ユビキタスエデュテイメントシステム整備委託料の説明を。  
**答** 総務省は次世代ICT社会として、ユビキタスネットワーク社会の実現を目指している。その構想の一環として、情報通信技術を活用し、各学校に子どもたちが楽しみながら勉強することができるシステムを整備するための費用。

**問** 具体的な活用方法は。  
**答** 学校全体でプロジェクトチームを作り、福智町に合った教育ソフトを作成し、学力低下等の問題に対応しながら、子どもたちが楽しみながら勉強できるシステム作りを行なう。

**問** 給食センター建設の進捗状況は。  
**答** 基礎工事に入っている。



▲給食センター建設工事現場(H21.10月中旬現在)

付託された議案4件について、慎重審議した結果、すべて可決すべきものと決定しました。  
委員会での主な意見や質疑は、次のとおりです。

**問** 学校等ICT環境整備事業備品購入費、地上デジタル放送テレビ購入費は、国から認可されると補助金が2分の1でいいのか。  
**答** 国からの補助金は2分の1で、残りの2分の1については、ICT環境整備事業備品は、経済危機対策臨時交付金を充当し、地上デジタル放送テレビ購入費については、公共投資臨時交付金を充当する。

**意見** 監査委員からの報告で、学校の備品が多く無くなり、そのままになっているとの報告があった。校長・教頭を議会に呼び、問いかけようとの意見もあったが今回は見送った。今後、このような事態がないように管理・監督をお願いする。

**答** 町内全域にわたって、グレーチングの盗難があり、その補填のために予算を計上している。



▲町内全域で盗難被害にあっているグレーチング

**問** 工事請負費として1億1250万円予算計上しているが内容説明を。  
**答** 輝ヶ瀬水落線舗装補修工事、平原田川線舗装補修工事、金田橋橋りょう補修工事などです。

**問** 荻ヶ原団地の説明を。  
**答** 木造二建て昭和43年～45年に20戸建設された。地元から分譲してほしいとの要望があり、不動産鑑定・家屋調査等を今年度行い、条件が合えば分譲を考慮している。



▲荻ヶ原団地(方城・伊方地区)

付託された議案2件・陳情1件について、慎重審議した結果、すべて可決・採択すべきものと決定しました。委員会での主な意見や質疑は、次のとおりです。  
**問** 農地有効利用支援整備事業の内容説明を。  
**答** 農道水路補修工事等の支援事業。盗難・事故に伴う補修工事として予算が計上されているが、どこ箇所か。

厚生常任委員会

委員長 堀江政洋



【付託案件】  
議案 第65号・66号・67号・68号  
陳情 第4号・5号

**問** 解体工事の財源は経済対策臨時交付金をあてると聞いたが、政権交代によって臨時交付金が凍結されるのでは。  
**答** 凍結という話は出ていないと思うが、一般財源になったとしても解体は必要だと思ふ。

**問** 交付金が凍結になったときは、全額一般財源として組み直すのか。  
**答** 凍結となった場合は、財源構成をやり直す必要がある。

**問** 赤池保健センター内にある風呂は、社協に委託し、数百万円の委託料を支出している。利用人数等の説明を。  
**答** H19年度は年間5108人、20年度は5311人。管理運営費用として370万円ほどかかっている。利用者の負担金としてはH19年度が66万7500円、20年度は71万4800円。

**問** 行財政改革を考えれば見直すべきではないか。  
**答** 利用者の声なども聞いて、見直しの検討ができれば進めたいと思う。

付託された議案4件・陳情2件について慎重審議した結果、すべて可決・採択すべきものと決定しました。  
委員会での主な意見や質疑は、次のとおりです。

**問** 解体工事費として、赤池老人福祉会館と方城老人福祉センターが計上されているが、場所の説明を。  
**答** 赤池福祉会館は、下田川塵芥清掃センターの手前であり、方城老人福祉センターは、中央保育所の裏にある。



▲赤池保健センター内にある風呂

監査報告

代表監査 大久保 琢磨  
議会選出監査 杉本 數男

平成20年度の文書および工事を対象に行政監査を行いました。また、小中学校の教材備品監査を実施したので、結果を報告します。

教材備品監査(8月19日・20日実施)

各学校が教材備品をどのように管理しているのか確認するため、合併後初めて監査を実施した。

小学校5校、中学校3校を全て実施する予定だったが、金田中学校は書類不備のため、市場・金田小学校は赤池中学校で時間を費やしたため、実施できなかった。

赤池中学校については、備品台帳の整理ができておらず、高額な教材備品も多数不明となっており、理由を尋ねても「わからない」との回答であった。今後は管理責任を明確にし、行方不明となった原因を究明し、不明のまま処理しないよう要望する。教材備品の整理・台帳の整備ができ次第、再度監査を実施する。

各学校の監査を行ったが、備品整理等の統一がされていなかった。今後、学校教育課が備品取扱要綱等を定め、徹底指導を行い統一するように要望する。また、教材備品は税金の一部という認識と、学校教育の基本的教材であるとの認識が足りないと思われる。今後は大事に取り扱うことを強く要望する。



行政監査(6月～8月に26日間実施)

福智町になり4回実施したが、年々改善されてきている。昨年の指摘事項が、改善されていない課には指導をした。

現場監査は、施工管理が不十分であり、初歩的な技術管理の指導ができていない。

赤池保健福祉センターとコスモス診療所に行き、入院の廃止や社会福祉協議会の撤退後、どのような利用がされているのか施設の視察を行った。保健センター内のお風呂については、社会福祉協議会に管理委託をしているようだが、利用者が少なく経費が多かかっているため、検討の必要性を感じた。

●掲載文字数に制限があるため、質問事項の多くを省略していますことをご了承願います。  
●詳細については、議会事務局に保管していますのでお尋ねください。



大島勇夫 議員

**質問** 豪雨による災害対策についてお尋ねします。7月24日午後7時過ぎに、とても激しい雨が降り出しました。大雨が降るたびに災害を受けているところに私が行きますと、すでに地元の方が集まっています。役場に電話を入れましたが、待つことが3時間以上待たされた状況でした。町長、今回の職員対応の仕方、人数はどのような形で対応されたのですか。

**町長** 当日は7時から方城の地域交流センターで同和講演会が開催されており、職員が多数出席をしていました。私も参加していたのですが、7時半ぐらいに災害警戒本部を設置しなければならぬという思いで、会場を出て役場に向かいました。役場には8時前に着きましたが、そのときには各地域から被害状況や警戒に対する声が殺到していました。すぐに対応するよう指示はしましたが、町内各地域からの声に、対応することが精一杯だったという現実があります。災害についてはマニュアルをつくり想定はしてはいたのですが、その想定を超えるような状況下でありました。町民の方々には、不安や町はどうしたのだからかという思いが募ったと思いますが、真摯に受け止め反省をし、対応を迅速にしていきたいと思っております。また、対応は全職員、消防団に協力をお願いしました。

**質問** 赤池協同医院を中心としたこの地域は、雨が降るたびに床下浸水や道路等が冠水します。地域の方々は再三町長にお願いを待っていますが、今回も間にあわず被害にあいました。この排水溝は、赤池工場団地を造成した際に水の流れがひどくなるといって、調整池を設けた経緯があり

ます。しかしその調整池を覗いてみると、泥泥がかなり溜まっている状況でした。今後は、浚渫工事を梅雨前や台風前に行なうなどの気持ちは持っていたいただきたい。地域住民は、何回となく町長に要望しているわけです。今後の取り組みをお聞かせください。

**町長** 平成15年度にこの地域で同じような災害が起こり、排水に問題があるということと、平成16年度から3カ年にわたり工事を行いました。しかし予想以上の雨が降った場合、排水溝の改善によっても改良されませんでした。調整池については、合併直前にしゅんせつ工事を行なっていますので機能は果たしています。今後は、専門家や大学等と原因究明を行い、対処していきたいと思っております。

**質問** 真剣に取り組んでいただきたいと要望します。次にダイオキシンについてお尋ねします。赤池地区の旧福祉センター下のゴミ捨て場ですが、大量の産業廃棄物が捨てられています。今回の豪雨で地下に浸水し流れ出したのではないかとこの地域の声を聞きました。地下水を通り彦山川に流れ込んでいるので、下流のほとんどの方はその水を飲んでます。早急に水質検査を行い、住民が安心・安全な生活が送られるよう、対策をしていただきたいと思っております。

**町長** 町民の方が、そういう不安な気持ちで日々を送るといことがあつてはならないので、我々としても何らかの形で、安心を確保できるような取り組みを、早急に考えていきたいと思っております。

**質問** 監査報告の中で、教材備品がかなり無くなっているとおりましたが、説明をお願いします。

**教育長** 赤池中学校の備品管理が非常にすさんであつたとのことです。すくなく町内8校の校長を集め指導しました。教職員については異動がありますので、異動の際は備品の整理を徹底するよう指示をしております。

**質問** 整理整頓を怠つたことが大きな原因だと思いますが、指導管理する立場の教育長が、校長教諭・先生方に徹底させることがこれから大事なことではな

**教育長** 当然整理されているという認識があつたのですが、それが甘かつたということには反省しております。

**質問** 天郷荘の今後については、赤池支所を改築し運営する方向で検討されていますが、入所者数は14人で一人あたり700万円超の経費が必要となり、町財政に多大な負担を強いているのが現状です。町長は廃止の方向ではなく、存続を目的にそのような形の回答をされておられるか、お聞かせください。

**町長** 状況が変われば入所希望者が増えるのではという観点と、将来的な高齢者に対応する行政的な取り組みとして、施設の有効利用を行い対処していきたいと思っております。

**質問** 廃止や存続、経営についての議論はされていますが、14人の入所者の気持ちは耳にしませんか？できれば気持ちを聞いて、考えてもらいたいと思つております。

**町長** 現在、入所されている方の気持ちについてお尋ねします。一般職員数は減少していますが、臨時職員は1300人となっております。

**町長** 私は教育の充実を大きな柱として掲げていますので、教育関係に多数の臨時職員を配置していますし、正規の職員が削減となつた場合、住民サービスが低下しないよう人員配置を行なつていきます。

**質問** 町長の説明を聞いて分らないことも多いのですが、行財政改革に向けて取り組むこととなり、やはり人件費の削減がかなりウエイトを占めるのではないかと感じます。そういうことを踏まえ、臨時職員の扱い方も、もっと真剣に考えるべきではないかと私は感じ、質問をさせてもらつたわけです。

**町長** 赤池支所は天郷荘老人ホームといつてありましたが、それ以降の進捗状況はどうなつて

**町長** 赤池支所は天郷荘老人ホームといつてありましたが、それ以降の進捗状況はどうなつて

**町長** 赤池支所は天郷荘老人ホームといつてありましたが、それ以降の進捗状況はどうなつて

**町長** 赤池支所は天郷荘老人ホームといつてありましたが、それ以降の進捗状況はどうなつて

**町長** 赤池支所は天郷荘老人ホームといつてありましたが、それ以降の進捗状況はどうなつて

**町長** 赤池支所は天郷荘老人ホームといつてありましたが、それ以降の進捗状況はどうなつて

**町長** 赤池支所は天郷荘老人ホームといつてありましたが、それ以降の進捗状況はどうなつて



沼口富生 議員

**質問** 福智町が誕生し3年数ヶ月がたちました。町民の皆様は、福智町が財政的に今後どうなつていくのか一番心配だと思つています。3年間の決算をみて、順調に財政運営がされていると思つていますか。

**町長** 税収入については、合併当時より約2億円増えています。しかし類似団体に比べると、徴収率は若干低い現状があります。収入は依存財源に頼らざるを得ない状況で、合併前・後も変わっていません。歳出面での効果等で考えられることは、人件費、物件費等の消費的経費だと思つています。人件費で約4億8000万円、物件費等で約3億円の減額となつて

**町長** 平成20年度を初年次として、5年計画で財政再建計画を実施しています。現在2年目ですが、今後改善していく点も残されていますが、順調に推移をしております。

**町長** 赤池支所は天郷荘老人ホームといつてありましたが、それ以降の進捗状況はどうなつて

**町長** 赤池支所は天郷荘老人ホームといつてありましたが、それ以降の進捗状況はどうなつて

**町長** 赤池支所は天郷荘老人ホームといつてありましたが、それ以降の進捗状況はどうなつて

**町長** 赤池支所は天郷荘老人ホームといつてありましたが、それ以降の進捗状況はどうなつて

**町長** 赤池支所は天郷荘老人ホームといつてありましたが、それ以降の進捗状況はどうなつて

**町長** 赤池支所は天郷荘老人ホームといつてありましたが、それ以降の進捗状況はどうなつて

**町長** 赤池支所は天郷荘老人ホームといつてありましたが、それ以降の進捗状況はどうなつて

※一般質問は受付順に掲載しています。



高津鶴己 議員

**質問** 7月の中国・九州北部豪雨での関係各位の皆さんの苦勞に、まず感謝申し上げます。7月24日の豪雨の際、災害対策本部の設置が遅く感じましたが。

**回答** 【町長】マニュアルを策定していましたが、想定外の状態にて反省点が出てきました。災害警戒本部、そして災害対策本部と移行したのですが、設置時間など大いに反省し、今後の対応を考えていきます。

**質問** 未曾有の豪雨だったとは思いますが、もっと早い時間に呼び出しができなかったのか。また、災害対策本部と消防団との連携、指揮命令系統がどうなっていたのか、反省点を含めお聞かせください。

**回答** 【町長】町民の方々にどのようにすれば適切に周知できたのか、また被害状況を受けたとき、どのような対応をすれば効果的な取り組みができたのかなど、色々な課題を今回我々は受け止めています。マニュアルが生かされなかったことも含め、職員・消防団の共通認識として、早急に確立していきたいと思えます。

**総務課長** 今回は、通常の警戒体制ではなく、水に集中しての対策をしなければなりませんでしたが、マニュアルが水に対する問題を想定していませんでした。具体的な問題点は、土のうの不足・水が溢れ現場にたどり着けない・職員が旧町の場所以外の現場が分から

ないため指示が確に伝わらない、などの状況がありました。住民の皆様はご不満もあったと思いますが、今回の問題点を教訓にし、体制づくりを行なっていきたいと考えています。

**質問** 災害復旧についても尋ねます。道路や河川等については予算化されていますが、民地について町として支援できる方法は何がありますか。

**回答** 【町長】民地については、税の控除や減免措置等がありますが、100%お答えできる状況ではありません。

**質問** 広報に豪雨災害被災者に対する支援策について、ご自宅で、宅地内に入った土砂の撤去については、希望、問い合わせは何件ありましたか。また、広報以外の周知方法を行なっていますか。

**回答** 【総務課長】現在で約30件提出がありました。周知方法としては、電話等の問い合わせ、また現地確認をした際に世帯主の方に制度の説明などを行なっています。

**質問** 監査委員からの報告で、保健センター内にあるお風呂を社協に管理委託しているが、1日15人程度の利用でかなり経費がかかっているため、検討の必要があるとの意見が出ていました。社会福祉協議会にも、この他にも色々と委託しており、21年度の委託事業として7753万円となっています。町長は以前会長をされていましたか、社協の事業内容について教えてください。

**回答** 【町長】大きく事業をあげますと、ボランティア活動の推進事業、赤い羽根共同募金運動の

推進、生活福祉資金貸付事業、祭壇事業、心配ごと相談・広報紙を発行し情報の提供、介護保険事業、安心福祉箱設置事業、障害者自立支援事業、フレンドシップ事業など、まだまだ数多くの事業を行なっています。

**質問** 町が自らできないことを社会福祉協議会に委託していることが多々あると思えます。

**回答** 【町長】可能性としては、町立の老人ホームや保育所の委託運営、介護保険の地域包括支援センターの委託などが考えられます。

**質問** 社協の自立も必要だと思えますが、町としての支援、指導も心がけていたかと思えます。次に環境美化について質問します。町内一斉清掃の時期は決まっていますか。

**回答** 【町長】方城地区は8月と12月、赤池地区は6月と10月、金田地区は7月と9月となっています。

**質問** 行政区に委託をしている事例はありますか。

**回答** 【建設課長】公園の一部や河川敷等において、歩道の伐採等を区に委託しています。

**質問** 公園以外の田上山に、絶滅寸前の希少植物があると聞いております。ボランティアなどを募って、保護する必要があると思えます。よろしくお願ひします。



池永利治 議員

**質問** 天郷荘と入札方法について質問します。町長は6月議会の答弁で、天郷荘は赤池支所を改築して運営する方向と説明されました。しかし、赤池町時代に浦田町長が就任した当時から、民間に払い下げるといって進んでいたと理解していましたが、その後、諮問委員会を立ち上げましたが、何も手付かずの状態が今日まで来ているのが現状です。今後どのような方向性を考えているのですか。

もう一点は入札方法ですが、半数の議員から一般質問で入札方法がおかしいのではないかと、疑惑を招くのではないかと、町長に対して改善すべきではないかと意見を上げていますが、いまだに予定価格の上限は公表し、下限は隠しています。今後、確固たる姿勢で進めていくのかお聞かせします。

**回答** 【町長】天郷荘については、6月議会で答弁した方針と変わっていません。現在、具体的に進んでいない理由は、赤池支所を建てたときの補助金の問題や、赤池支所を同和対策研修センターに移す予定で検討していますが、これについても同和対策の補助金等で建てられていますので、国や県の助成金の返還義務が生じるのかなど、現在すり合わせをおこなっています。このような条件が整理できれば、具体的に着手する方向で進めていきたいと思います。入札方法については、最低価格を公表していた時期もありましたが、このときの状況と現在の状況と

比較して、どうしても不具合があるというのであれば、当然、検討しなくてはなりません。しかし、現状の中では現在進めている入札方法で実施していきたいと思ひしています。

**質問** 天郷荘について民間に払い下げるといふことは完全に断ち切られたわけですか。また、入札方法については今後、一切変えるつもりはないのですか。また改善の余地はあるとお考えですか。

**回答** 【町長】天郷荘については、可能性としては全ヶセロになったというところはありません。また入札方法については、改善を全くしないというところではなく、予定価格の上と下を出さない方法もありますし、電子入札という方法もあります。当然、公平、公正、そして疑いを持たれないような入札制度に努めなければなりませんので、そういう意味では改善の余地がないというところではありません。

**質問** 保育所についてお尋ねします。町長が突然、第1保育所を統合すると発表して2年が過ぎましたが、2年経った現在も方向性が見えていません。統合する、民間に払い下げる、そのまま運営するなど、町長の答弁がその都度変わっています。諮問委員会を2度立ち上げていますが、諮問委員会の答申はどうだったのか、また天郷荘の答申についてもお答え願ひします。

**回答** 【福祉課長】第1保育所も天郷荘も民営化で存続しようとして答申をしています。  
**質問** 緊急災害についてですが、7月24日に上井城で緊急災害が発生したと連絡を受け、私も現場に向かいました。そのときには数名の議員も駆けつ

ており、現場には消防本部からのレスキュー隊、地域の消防団、役員職員などが暗闇の中、電灯を照らし作業をしていました。1時過ぎに現場に戻ると、職員は土砂まみれの状態で右往左往しており、町長は倒れたのかと尋ねると、「町長は倒れていません。町長は連絡が取れています。」「との返事でした。その時点での町長の姿を見るとネクタイに革靴という点で、次の日には、武田、山本両代議員、日野県議も防災服に身を包み、長靴を履き現地に視察に来ていました。その後、役場に電話をし、両代議員が庁舎に寄りたと言っているのを、町長は在席かと問うと、「まだ来ていない。」「との回答でした。」「これから両代議員、日野県議を交えて今後の防災対策を話し合いたいので町長を呼んでほしい」と言い役場所舎に戻ると、町長の姿は真っ白のトレーナーにシューズでした。何が緊急対策ですか。自分自身の自覚がないのではないですか。緊急時の緊張感があるでないと。こんなこと町長としてのリーダーとしての責任ではないのですか。今後一切のようないことがないよう、もっと緊張感を持ってほしい。また、各地域には対応が異なる建設業者がいます。防災契約を結び、いかに二次災害を防ぐか、そういう方向付けが必要な時期だと思ひますが、これについてお答え願ひします。

**回答** 【町長】防災対策の強化、町挙げての取り組みです。旧赤池町時代も緊急時に各業者やお互い連絡を取り合い、最大限の効果発揮するようやっています。私もそれなりに緊張感を持ってやってきました。私個人を含め、いろいろ反省するところがあつたことは認めます。また災害時の協力体制について最大限に努力してまいりたいと思ひます。

# 陳情紹介

今回、可決された陳情を要約してご紹介します。



## 陳情第3号

「協同労働の協同組合法（仮称）」の速やかな制定を求める意見書に関する陳情書

【陳情趣旨】「協同労働の協同組合」は、組合に参加する人すべてが協同で出資し経営するという協同で働く形をとっており、「働くこと」を通じて「人と人とのつながりを取り戻し、「コミュニティの再生をめざす」活動を続けています。

国内では、ワーカースコープやワーカースコレクティブ、農村女性ワーカーズ、障害者団体など10万人以上が、「協同労働」という働き方で、20年・30年という長い歴史の中で働いてきましたが、「自分たちの働き方に合った（法人格）がほしい」「（労働者）としての法的保護を受けられるような社会的認知をしてほしい」と法律の整備を求めて活動を続けてきました。その甲斐あって、この働き方や法人を認めるための「協同労働の協同組合法」の法制度を求める取り組みが全国に広がり、国会で法制化の具体的な検討が始まっています。

「協同労働の協同組合」は、企業で正規に雇用されない若者や退職した高齢者が集まり、働きやすい職場を自分たちで作る新しい働き方としての期待や、地域の様々な課題に住民自身が取り組むための「組織」として期待をされています。

法制化の流れを推し進めるため、国会でのしっかりとした議論と速やかな制定を強く要望します。

【結果】この陳情は採択され、衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・総務大臣・厚生労働大臣・経済産業大臣に意見書を提出しました。



## 陳情第4号

新型インフルエンザ対策等の公衆衛生活動を強化するために県内保健環境福祉事務所統廃合計画の中止を求める陳情書

【陳情趣旨】新型インフルエンザにおける地域の感染症対策の第一線機関として、重要な役割を担う保健所機能の抜本的強化が求められています。しかし、1994年に制定された地域保健法以来、保健所は14年間の間に335ヶ所が削減されました。

福岡県内には、21ヶ所の保健所がありましたが、現在は13ヶ所に削減されています。さらに、「保健環境事務所の執行体制の効率化並びに専門性及び機動性の向上などの機能の強化を図る」ことを理由に、本年10月1日より、9ヶ所に削減することが計画されています。実施されれば、遠賀・鞍手・久留米・八女の4ヶ所がなくなることとなります。

これまで全国的に保健所業務が縮小され、一部業務の民間委託も進み、保健師の家庭訪問件数や食品・環境衛生監視員の監視員件数も減少し、住民サービスは低下してきました。「保健所」は身近な地域における保健衛生の推進及び地域住民の健康の保持・増進を図る中心的機関として、公衆衛生の推進を図る重要な役割を担っており、日常活動の拡充が、健康危機管理に強い地域をつくることにつながります。県民の命と健康を守るための対策を抜本的に強化するために、次の事項を陳情します。

・保健所機能を抜本的に強化し、新型インフルエンザ感染症の急増及び秋口から懸念される第二波のインフルエンザ流行に万全を期すため、本年10月1日より実施が予定されている、県内13の保健福祉環境事務所を9ヶ所に再編・集約化する計画を中止するよう、福岡県に意見書をあげることを。

【結果】この陳情は採択され、福岡県知事に意見書を提出しました。



## 陳情第5号

生活保護の老齢加算・母子加算復活を要求する国への意見書を求める陳情書

【陳情趣旨】生活保護を受けている70歳以上の高齢者などに支給されていた「老齢加算」が、2006年に廃止されました。また、母子家庭などのひとり親世帯に支給されていた母子加算が2009年に廃止されました。その結果、月々の保護費は高齢者で20%前後、ひとり親世帯で16%前後減りました。

「知り合いの葬式に、香典を持って行けない」「新聞の購読を止めた」「食、盛りの子どもに、満足な食事を作ってあげられない」「高校の修学旅行に行かせられない」など、保護費を減らされた人たちに、深刻な影響が出ています。

高齢になれば、良質な消化のよい食事が必要となり、また寒さ暑さにも抵抗力がなくなります。ひとり親世帯は、子育てに特別な苦労や気遣いがあります。こうした「特別な需要」にこたえて支給されていたのが老齢加算であり、母子加算です。

この国では、すべての人に「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」（憲法第25条）があります。高齢者やひとり親世帯は、加算があったからこそ最低限度の人間らしい生活ができていました。加算の廃止は、生活保護基準を切り下げることによって、最低賃金や年金、住民税の課税基準、就学援助の適用基準などの引き下げにもつながります。国民生活全体を下に押し下げることとなります。よって、次の事項で国の関係機関へ要請していただきますよう、陳情します。

・生活保護の老齢加算・母子加算復活を要求します。

【結果】この陳情は採択され、衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・総務大臣・厚生労働大臣に意見書を提出しました。

9月定例会での傍聴人数です。  
 本会議傍聴者 15人  
 委員会傍聴者 10人  
※延べ人数です



# 議会行政視察

佐賀県 武雄市に学ぶ



10月15日・16日に佐賀県武雄市へ、行政視察に行きました。

武雄市は佐賀県の西南部に位置し、人口約5万1千人、面積は195.44km<sup>2</sup>で、平成18年3月に山内町・北方町と合併し、新たに誕生しました。

合併と同時に誕生した市長は、当時36歳という全国で一番若い市長でした。就任後は、ユニークな政策を数多く行なっています。その一部を紹介しますと、公用車をネットオークションで発売。柔軟な発想や斬新なアイデアを市政に反映させるため、市民主体の活動で計画・立案・実行する「わっかもんプロジェクト」を設置。テレビドrama(佐賀のがばいばあちゃん)ロケ地を誘致し「佐賀のがばいばあちゃん課」を設置。「いのしし課」を設置し、イノシシ被害対策としてのしし肉を使った特産品を開発し販売。この他にも、今までになかった視点での政策を、数多く実施しています。

今回の行政視察では、農作物のブランド化として、レモングラスに取り組んでいる(営業部レモングラス課)へ視察に行きました。



▲武雄市議会 牟田副議長より歓迎のあいさつ。多くの自治体や議会が武雄市へ視察に訪れている。

## レモングラスに着目した理由・・・

レモングラスはハーブの一種で、もともとはタイなど亜熱帯地域で栽培されています。匂いが強いのでイノシシ被害がなく、成長が早いいため生産効率も高く、食用・薬用・加工用とさまざまな用途があります。

栽培を始めるにあたって、新たな農機具・道具は必要とせず、費用はかなり抑えることができました。また、比較的軽作業で行なうことができ、遊休農地や耕作放棄地などが活用できるため、高齢化の進む中山間地域で適作と判断されました。



▲乾燥させたレモングラス。全て手作業で、葉を細かくカットする。

## 担当職員熱意と苦労・・・

しかし、軌道に乗るまでは、さまざまな苦労があったと担当課長は話してくれました。栽培方法を学ぶためにタイ国へ数ヶ月の滞在、土・日を返上しイベントでPR、販売経路を確保・拡大するためにデパートや企業へ売り込み・・・

など多くの苦労がありました。現在では有名デパートやグリーンコープで販売、インターネットでの販売、また新たな新商品としての開発も行なっているとのことでした。

今後も継続して取り組むのかという質問には、「市長より、3年を目途に事業を行なうようにとされている。今年度は3年目なので、レモングラスは農事組合法人にお願います。来年は違う作物に着目し、おそらく全国・海外を飛び回っているだろう」と笑いながら話してくれました。

## 研修を終えて・・・



今回の研修で驚いたことは、市長のユニークな発想とそれを実現させる実行力、そして職員の苦慮しながらも熱意でここまで拡大させた行動力でした。市長自らが広告塔となり、マスコミや広告を巧みに使い、武雄市を全国的に有名にした手法。

自治体競争が激しさを増す現在。福智町も学ぶことが多々あった今回の研修でした。

# 福智町議会レポート



全国から多くの自治体や議会が視察に来る福智町。10月・11月にも、各地より視察に訪れました。今回その一部をご紹介します。

## 鹿児島県 加治木町

### 広報誌・議会だよりを研修



▲加治木町広報調査特別委員会  
新福副委員長

全国的に有名な福智町広報誌。企画課職員が作成方法や写真撮影などの説明を行いました。議会だよりについても沼口委員長より掲載方法や課題点などの説明を行いました。

また、来春に合併を控えている加治木町。先に合併した福智町の現状や問題点などの質疑が飛び交いました。



現状や問題点など積極的に意見交換が行なわれた。

## 鹿児島県 瀬戸内町 埼玉県 所沢市

### 財政再建団体からの脱却を研修



鹿児島県瀬戸内町議会議員▲

11月5日に鹿児島県瀬戸内町議会議員が、11月9日には埼玉県所沢市議会議員が福智町を視察に訪れました。

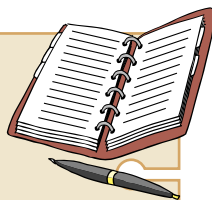
旧赤池町の準用財政再建団体時の再建計画についての取組みや、町民の反応について、また合併後の福智町行財改革等について質疑がありました。

どの地方自治体も再建団体に堕ちる要素が十分あり、今回学んだ事を活用し、役立てていきたいとの言葉をいただきました。



埼玉県所沢市議会会派▲

## 議長雑記帳



今年も残りわずかとなりました。

今年1年を振り返りますと、いろいろなことが起きた1年だったと思います。5月には新型インフルエンザに関する報道がされ、薬店等ではマスクなどが品薄となる状態になりました。その後全国的な流行となり、福智町でも9月以降に流行し、町内の各小中学校で休校、学年閉鎖が相次ぎました。

6月の田植え後には、水が必要な時期に雨が降らず、田んぼはひび割れた状態で水不足が心配されましたが、7月24日に九州北部地方を記録的な豪雨が襲い、福智町でも甚大な被害がおきました。

このように今年は、新型インフルエンザの流行、自然災害に見舞われた1年でした。

あと一月で新しい年を迎えます。来年は、福智町にとっても、皆様方にとっても、すばらしい1年になることを願っています。

(大島 道人)

## 編集後記



早朝テニスを始めて二十数年、一向にうまくなれず…人より少し早めにグラウンドに出向き、5周～10周歩く。背に少しの汗をかき、秋の風の冷たさを感じ始める。いつか出来るだろう挑戦することで、今の自分から少し変えてみよう。辛いという字を一つ乗り越えると、幸せという字になる。

今年も歳を重ねていく。体力と気力の違いを感じつつ1年を振り返る。100年に一度といわれる世界大不況に、日本の企業倒産が相次ぎ、そのあおりをもちに受けて雇用の場をうばわれ、失業者が増え、多くの家庭が窮地に追い込まれ、官と民の違いが色濃く示された感じがする。朝日川柳を引用して…『秋深し隣は仕事ある人ぞ』まさに仕事を続けたいとの心境か…

民間企業を苦しめる景気の不安定が、親の目を公務員の安定感に向かせるようだが、これからの若者が、青雲の志を燃やしていける社会と環境づくりに、我々も道筋を開く努力が求められていると痛感する今日この頃…

(大島 勇夫)